

井奥まさきの ニュース 市政報告NEWS

2006・3

3月号

(通算46号)

このNEWSは、みどり・市民派をめぐり高砂市議会議員井奥まさきによる市政レポートです。

3月議会はいよいよ佳境 傍聴をお待ちしています

子育て / 公務員の働き方と若者労働 / 財政などがテーマです

3月議会が一番大事な議会
地方議会は年4回開会されます。3月、6月、9月、12月とあるのですが、特に3月議会は重要です。年度は4月から始まりますので、3月議会で一年間の大きな方針を決めることになるからです。

当初予算という形で3月に一年間の予算を決め、その後6月、9月、12月、3月と4回にわたって修正していきます。その修正を「補正予算」といいます。

実は3月議会は「その年度の最後の補正予算」と「来年度の当初予算」を決めることになります。そういう意味でも

大切な議会なのです。

当初予算は代表質問から
当初予算の議論は「代表質問」から始まり、さまざまなテーマを議論することになります。今回は以下のテーマに沿って議論するつもりです。

- ・子育て支援策
- ・公務員の働き方
- ・若者への労働対策
- ・財政(三位一体改革、量的緩和解除の影響、基金の積立)
- ・国民保護計画
- ・改正介護保険法
- ・市長の姿勢(理念がない、計画性がない)

傍聴の手続きは非常に簡単です。基本的に名前を書くだけで

本会議も委員会も傍聴できます。また本会議は市役所内のテレビでも見ることができます。ぜひお越しを。

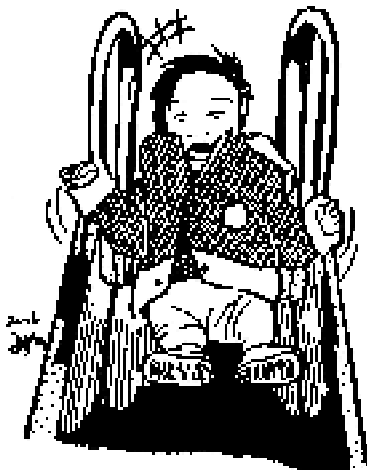
3月議会 当初予算審議

- 16日(木) 代表質問
- 17日(金) 質疑
- 20日(月) 質疑
- 22日(水) 一般質問
- 23日(木) 特別各常任委員会審査
- 24日(金) 各常任委員会審査
- 27日(月) 各常任委員会審査
- 28日(火) 各常任委員会審査
- 29日(水) 委員長報告、
討論採決、閉会

(補正予算の質疑で原案撤回がめぐり3日間空転したため、予定が変更)

子育て日記

娘はやんちゃで人見知り、お外が大好きです



あっという間に成長

「2年前は君はいなかったんだなあ」一歳半に近づく娘を見ると不思議な気持ちになります。最近はやんちゃこと

歩き回ります。指をさしては「あれを取れ」「あそこに行きたい」と意思表示をします。

一年前では寝ているだけでお乳を飲んで泣いて寝るだけだったのと大違いです。

「きっと脳細胞がとてつもない勢いで増えているんだな」「自分たちはどんどん減っているのに...」と最近モノ忘れがひどくなった夫婦で言い合っています。

お気に入り公園遊び
イヤイヤ時期というのでしょうか。自分の主張が伝わらないと反り返って怒ります。(お前

と同じだといわんといてください)この間も夜に「お外に行くんだ」と服を引っ張り出して靴をはこうとするので、あわてて止めました。それくらい外遊び、特に公園遊びが好きで、滑り台があるとイラストのような満面の笑顔で遊んでいます。

そんなやんちゃな娘ですが、案外人見知り初めての場所では大泣きすることが多いのです。

4月からは保育園の予定ですが、こんなので大丈夫かなと少し心配です。

タクシードライバー問題「原本を開示」の私の情報公開請求は却下。私は即座に不服審査を要求しました。機密費まで公開の時代なのに

【財政】土地開発公社 借金のための借金を早急に解消を

大阪市
「塩漬け」5年で解消
土地開発公社から土地買収へ

ついに利上げの時期がきました
日銀の量的緩和解除がニュースで流れました。一言で言えば「金利が上昇することが確実」になりました。高砂市は土地開発公社で100億円近い「塩漬け」土地を抱えています。しかも取得は全額借金です。この不良債権を処理しないと高砂市は破綻に追い込まれます。大阪市のように早急な処理が必要です。

朝日新聞 2006.3.9

井奥の提言 ▶ こうすべき +1

不良債権化した土地開発公社の土地を5年以内に引き取りを
工業公園の土地は「損切り」ができるように一般会計に「引当金」を
財政調整基金を少なくとも20億円積み、庁舎建設基金の積み増し再開を上
の要素に「学校耐震」「JR宝殿駅改修」などの要素を入れた正確な中期財政計画を市民に示すべき

【働き方】若者に責任を押しつけないで 若者雇用に力を入れるべき

「ニート」とひとくりにされますが、その中身はさまざまです。「ニートって言うな」(光文社新書)では「引きこもり」「家事手伝い」「就職活動のあきらめ組」といろいろな層があるのに統計上一緒にしていること、そして一番悪いイメージを拡大宣伝していると指摘しています。

私の実感でも、特に25歳から35歳の世代が「学校から就職、年功序列、終身雇用」というルールからはずされてしまっています。これは不景気や企業の採用変化が大きな要素です。「根性がないから」などと、個人の努力に置き換えるのは無神経です。

この世代が安定しない限り、出産率向上なんてありえません。高砂市はこの若者雇用と働く環境改善を真剣に考えるべきです。

そして、高砂市職員は真剣に「自らの働き方」を見直すべきです。本当に恥じない労働なのか、待遇要求が妥当か問い直して欲しいものです。

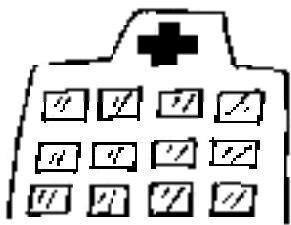
私が問題だと思うのは、「フリーター」も含めた「あきらめ組」です。厚生労働省のデータでも若者の失業率は8.6%で全体4.5%の約2倍となっています。これに「あきらめ」組を入れたらさらに数字はあがりま

す。そして、一方で正社員で採用された人々もボロボロになるまで働いています。「落ちこぼれたら後がない」との思いからです。サービス残業は法律違反なのですが、それが当たり前というのが民間の感覚です。

井奥の提言 ▶ こうすべき

政策評価型の入札制度で大企業には「従業員の待遇」も入札条件に労働相談窓口の充実を
市職員の新規採用は年齢をせめて35歳までに
任期付き職員や嘱託で年齢制限のない採用を

補正予算審議より



形成外科を導入して脳外科医を失う ちぐはぐな経営の責任を誰がとるの？

病院事業会計は05年度で3億円の赤字見込みです。それも一般会計から毎年7億円以上のお金を入れてこの状態です。そして、経営好転に向けて

の施策もすべてちぐはぐな状態です。例えば、昨年12月に私たちの猛反対を賛成多数で押し切り、「形成外科」の新設を決めました。その直後の今年1月に大学病院から「脳外科医を引き上げたい」と意向を示され、2名の医師が3月末で退職となりました。

すが、4月からは別の大学病院から非常勤の医師が週3日くるだけ。手術も入院も高砂市民病院では無理となりました。救急車で搬入も「難しい」とのことです。

この脳外科医の2名退職で失われた利益は2億円近いそうです。今こそ根本的な対応が必要です。

あわてて走り回ったようで

イベント情報 まちづくり協議会は、毎月第三土曜日午後2時～中央公民館を定例会とします

まちづくり連続市政勉強会 3月18日(土) 4月15日(土) 主なテーマ 公務員労働、介護/病院

病院の経営難の根本的解決には「優秀な病院管理者」の導入しかありません。ちなみに導入した岡山市市民病院は年間で2億円の利益改善をしました。

ついに自衛隊員を入れて「戦争の時にどう対応するか」の議論が4月から始まる予定。平和について真剣に考えたいものです。